

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	通学バス運行事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
		予算科目	10 款 1 項 2 目	事業番号	4090	所属長名	佐々木正孝
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福岡富美子	
法令根拠等	伊予市通学バス等運行管理規程				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 学校教育環境の整備・充実					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	遠距離通学児童・生徒に対し通学バス・タクシーを運行することで、安全・安心な学校づくりと教育環境の整備に寄与する。						
事業の対象	南山崎小学校、双海中学校、下灘小学校、中山小中学校、翠小学校及び港南中学校の対象地区児童生徒			事業の目的	学校統廃合等により遠距離通学となった児童・生徒に対し通学バス・タクシーを運行することで、通学の負担を軽減し安全を確保する。		
事業の内容 (整備内容)	下記により対象者の登下校の送迎を実施する。 ・南山崎小学校は市有のバス1台 ・双海中学校・下灘小学校は市有のバス1台 ・中山小中学校は民間業者のバス3台 ・翠小学校はJ R 上灘駅までタクシー ・港南中学校は旧唐川小学校区までタクシー			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	38,306	41,022	1,175	0	0	39,721	バス運行日数 (南山崎小)	日	195	202	90	198
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	バス運行日数 (双海中)	日	291	284	139	277
一般財源	38,306	41,022	1,175	0	0	39,721						
職員の人工 (にんく) 数	0.15	0.15				0.15	バス運行日数 (中山小中)	日	940	996	477	971
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	39,478	42,198				40,897						
主な実施主体	市内運輸業者		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		委託料 (バス) 使用料 (タクシー)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計		
					42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	210,000		
成果指標	指標	バス運行日数実績/バス運行日数計画×100	単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度		
			%		目標	100	100	100	100			
	指標設定の考え方	関係者が協議して定めた安全・安心な運行計画であるため、計画通りの事業完遂を目標とする。			実績	95	98					
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		新型コロナウイルス感染症の三密予防対策として、引続きバス及びタクシーの増便を行う。											
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	新型コロナウイルス感染症の三密予防対策として、引続きバス、タクシーの増便を行う。 通学バスの委託事業者変更に伴う補正予算計上を行った。 保護者の要望により、下灘小学校から喜多灘駅まで小学生を双海中学の通学バスに乗車することができるよう、規則改正及び変更契約を行った。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A			事業の苦勞した点・課題	通学バスの予算計上の際には、見積徴収等の市場調査を必要とする。 又、入札の際は、契約から運行開始日まで期間に余裕をもてるよう準備を必要とする。
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 遠距離から通学する児童生徒及び保護者にとっては、通学バスを提供し、安全安心を提供することは必要であると考えるため。			
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			A	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 遠距離から通学する児童生徒及び保護者にとっては、通学バスを提供し、安全安心を提供することは必要であると考えるため。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	双海地域の通学バスにおいては、今年度途中から下灘小学校にJRで通学する児童を対象とした。しかし、途中で多くの問題がでてきた。今後も問題が出てくる可能性があると思われるので、適正に対応する必要がある。			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識			双海地域の通学バスにおいては、今年度途中から下灘小学校にJRで通学する児童を対象とした。しかし、途中で多くの問題がでてきた。今後も問題が出てくる可能性があると思われるので、適正に対応する必要がある。		
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		